

保護者等向け
放課後等デイサービス評価表

事業者:放課後等デイサービスあおば

児童数13名 回収数11名

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8	3			
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	10	1			
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11				
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	10	1			
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	9	2		イチゴ狩りとか大変だと思うが、楽しみな事を作ってもらい感謝している。	プログラムが固定化されないよう、今後も利用児が楽しめる活動をチームで立案していきたい。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	7	2	・リモートであおば甲府とのお楽しみ会などありがたく思う。 ・感染症の流行もあるので、積極的に行わなくてもいい。	障がいのない児童との交流実績はないが、リモートで別事業所と交流を図っている。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	10	1			
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10	1			
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	8	3		今は面談は中々難しいが、送迎時に色々話を出来るのは有難い。	今後も必要に応じて支援が出来るように努めていく。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		7	3	・コロナ禍で大変だと思う。機会があれば参加したい。 ・特別そのような機会を必要と感じていないので現状のままでいい。 ・学校で顔を合わせた時はお互いあおばでの様子を話したりしている。また自分の子どもが「〇〇さんのお母さん」と声をかけているのを見て羨望などしている。特に必要は感じていない。	コロナ禍などの世情を鑑み、必要に応じて保護者同士の連携が図れるように努めていく。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	2			
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10				
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	9	2			不定期ではあるが、あおば便りで事業所の取り組みや活動内容を発信している。
14	個人情報に十分注意しているか	11					
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	9	1	1		各種マニュアルを策定しているので、定期的に保護者へ周知・説明を行っていきたい。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	3			年に2回以上災害・避難訓練を行っている。参加された利用児のご家族以外にも情報を発信していけるように努める。
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	10			職員の名前を出してとても楽しみにしている。	今後も利用児が楽しみながら利用できるように努めていく。
	18	事業所の支援に満足しているか	9	1		・いつも助けて頂き感謝している。 ・いつもお世話になっている。本人の気持などを考えてスタッフが丁寧に接して下さっている様子がよくわかる。楽しく通わせてもらっていて感謝している。 ・お風呂のサービスもあるのでぜひ生活介護をして欲しい。	今後も既存のサービスだけでなく利用児や保護者等からの声をもとに、満足度を高めていけるようにしていきたい。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。